

| No. | 提案箇所                      | 提出された意見  | 市の考え方   |
|-----|---------------------------|--|---|
| 1   | P 1 4                     | <p>人間が本が好きになる基本は幼少期にいかにも本に接したか、であると思います。そのためにまずはじめて本に接するのには身近に居る本の好きな大人が本の読み聞かせをやって、いかに物語を感動させることが出来るかです。これは本当に難しいテクニックなので、やっている人の天性が必要であると思います。それから図書館は人を育てる所だと思います。私は「花まるグループ」の高浜正伸さんの本を見てすごく今までにない感動をおぼえました。田原市で無理だったら豊橋と「人間教育」の基本となる講演をぜひ計画してほしいと願っています。以前たしか図書館がやったと思いますが「回虫」の先生（藤田紘一郎先生）の講演は本当に親としてよかったと思っています。</p> <p>※図書館主催の「花まる学習会」のような夏のキャンプなど計画してくれませんか。トヨタの森、国立青年の家とか親から離れて群れの中で、自然の中を体験させることは一番大切な事だと、本を読んで感じました。</p> | <p>児童サービス等の充実の参考とさせていただきます。</p>   |
| 2   | <p>P 1 4</p> <p>P 1 9</p> | <p>私は渥美図書館で、おはなし手のひらの会として活動しています。振興計画の中で、読み聞かせボランティア対象の勉強する機会を提供していただける旨、ありがたく拝見しました。近年そういった講習・講座のようなものが、あまりなかったので、今後は是非ともお願いしたいと思います。読み聞かせ向きの本、紙芝居、プログラム構成、手遊びなどいろいろ勉強できればと思います。</p> <p>その一方で、新しいボランティア養成の講座を設けていただくことは、ご検討いただけないでしょうか？ 私たち自身新規メンバーを募集はしているもののなかなか新しい方に入ってきていただけません。元からのメンバーも様々な事情で活動できないものが少しずつ会を去り、ま</p>  | <p>読み聞かせ等を行う個人・団体を支援する参考とさせていただきます。</p> <p>司書等の職員及びボランティアの資質を向上させる参考とさせていただきます。</p> |

|   |       |  |                                  |
|---|-------|--|----------------------------------|
|   |       | <p>たメンバーの年齢も上がってきて、今後の活動に不安を覚えます。既存のグループに新しい方は入ってきづらい面もあるかと思います。今後も引き続き図書館のおはなし会を行っていく為に新しい方々の参加を希望します。</p> <p>グループではなくても、2，3人組で、活動していただくことも良いのではと思います。そういった方が何組もあれば夏休みのような長期休業中にも平日でもちょっとしたお話会の機会をつくるのではないかと思います。</p> <p>以上、ご検討いただければ幸いです。</p>  |                                  |
| 3 | P 2 0 | <p>1 18日のワークショップで提言した、まち・ほん大賞の開設を期待します。小学校高学年、中学生、高校生、一般成人の4部くらいに分けて年に2回ほど募集するとよいと思います。</p> <p>2 図書館夜の部のイベントとして、自分の好きな詩、エッセイなどの朗読の場を設けたり「私のおすすめ本のメッセージ 400～500字」を募集して、年に2回ほど冊子を制作配布したりするのもよいと思います。</p> <p>3 信州大学の学長が、この春の入学式で新生向けにスマホの濫用の自粛を呼びかけたことの意義を注目する必要があると思います。スマホの野放図な使用は、この街の若者たちにも急速に広がりつつありますが、この状態を仕方のない風潮として放置すると、この先20年、30年後に憂慮すべき事態が起こることに、もっと注意を喚起することが大切だと思います。本を読む機運の助長のためには、中毒症状を呈した若者たちのスマホ熱中症への対策を、この町の若者たちの生活指導の重要課題として提起してほしいと思います。</p> | 生涯読書をPRするための事業を実施すると言う内容を盛り込みます。 |
| 4 | P 1 8 | <p>赤羽根の図書館がいつまで続くか、不安です。合併前より田原におんぶにだっこでしたが市役所の税務課や、市民課、いろいろな機能がどん</p>   | 読書、学習、情報の地域間格差の解消の促進の参考とさせていただ   |

|   |       |   |   |
|---|-------|---|---|
|   |       | <p>どん田原に出て行ってしまいます。</p> <p>赤羽根の図書館も、いずれは引き払われてしまうのでしょうか。</p> <p>田原の図書館は、高校生を迎えに行く際の待ち合わせによく使います。便利です。</p> <p>しかし赤羽根は、正直不便です。立地のことを言っははいけません、何かのついでに図書館に寄るといことができません。自分の場合は生活環境は田原寄りですが、日常の買い物は赤羽根のショッピングセンターや、大手薬局、中学校近くのホームセンターも使います。小学校がいずれ統合され、高松の子は赤羽根に通うことになる、先日ご近所の友だちとも話をしました。いっそのこと、赤羽根小学校や中学校の近くにあると、ついでに立ち寄る、などできて使える図書館になると思います。それから、夕方はせめて5時ではなく7時まで開館していただくと、農家の主婦も仕事が終わった後の買い物時に使うことができます。田原ではどうか知りませんが、赤羽根では昼中から働きもせず、図書館でゆっくり本を読むというと、お暇な奥さんね、と冷ややかに見られます（日のあるうちは働かなければいけませんし）。農家はそんなものです。地域の格差解消をうたうなら、生活のリズム、働き方も視野に入れて、どの時間ならどういう層が借りに行けるかも、考えてください。どれくらいこういう意見が反映されるか知りませんが、とりあえず思っていることを書いてみました。ご検討いただければ幸いです。</p> | <p>きます。</p>                                 |
| 5 | P 1 4 | <p>全館（中央・赤羽根・渥美）の休館日をずらしてほしい。</p> <p>赤羽根図書館の閉館時間を変更（19：00くらいまで）</p> <p>移動図書館と中学校との連携</p> <p>市民館で予約した本が受け取れるように</p>  | <p>学校図書館支援センターの設置、充実させる上での参考とさせていただきます。</p> |

|   |       |   |   |
|---|-------|---|---|
|   | P 1 3 | <p>市民館に返却BOXの設置</p> <p>物流センターの本の管理、誰が受け取り、返却を誰がするか</p> <p>学校側での受け取りの責任者は誰になるのか</p> <p>学校図書館と中央図書館とのシステム共有（バーコード等）</p> | <p>学校図書館の情報化推進の参考とさせていただきます。</p>            |
| 6 | P 1 4 | <p>赤羽根図書館の開館時間を延長して欲しい</p> <p>できれば学習支援センターを文化会館など遅くまで開いている施設に設置してほしいです。</p> <p>市民館で本の受け取りが出来るようにしてほしい。</p>            | <p>学校図書館支援センターの設置、充実させる上での参考とさせていただきます。</p> |
|   | P 1 8 | <p>くつろぎコーナーにテーブルを設置してほしい。赤羽根図書館の場所が2階から1階に変わると便利です。</p>   | <p>3つの市図書館設備の計画的なメンテナンスの参考とさせていただきます。</p>   |
|   | P 1 4 | <p>移動図書館の人数や回数の見直しをお願いします。</p>  | <p>移動図書館の運用の参考とさせていただきます。</p>               |